

子どもが創る・子どもと創る - 多様な学びと社会を実現する -

特定非営利活動法人東京シューレ

2019年度（第21期）

活動報告書



東京シューレ大田の屋上から

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <https://www.shure.or.jp>

もくじ

ごあいさつ 理事長 奥地圭子 -----	3
2019 年度（第 20 期）事業報告及び決算について -----	4
■ 1. 2019 年度基本方針・重点目標をふり返る	
■ 2. 事業の概要 -----	6
■ 3. フリースクール等の事業について -----	6
(1) 王子シューレ	
(2) 新宿シューレ	
(3) 流山シューレ	
(4) 大田シューレ	
(5) シューレ大学	
■ 4. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について -----	12
■ 5. 高校コース事業について -----	13
■ 6. 公民連携事業 -----	13
■ 7. フリースクールスタッフ養成プログラム -----	14
■ 8. その他の活動について -----	15
■ 9. 団体の運営に関する報告 -----	18
■ 10. 決算に関する報告 -----	20
監査報告 -----	26
2020 年度（第 21 期）事業の重点と基本計画 -----	28
■ 1. 重点目標と基本計画	
■ 2. 役員の体制	
■ 3. スタッフの体制	
■ 4. 委員会等の体制	

ごあいさつ



NPO法人東京シューレ理事長 奥地圭子

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために出されていた緊急事態宣言を受け、フリースクールは閉室で始まり、6月1日から開室となりました。とはいえ、姿の見えないコロナウイルスは、長期戦を覚悟で、コロナと共存しつつ安全に生きる術を、大人も子どもも身につけ、理解し、暮らしていく必要があります。

昨年の特徴は、何ととっても、小学生の増加です。若い父母の皆さんが、「学校でないとダメ」と考えるのではなく、「学校以外もありかな」と多様な学びの在り方に目を向ける人が増えてきたといえましょう。また、東京シューレが公的な機関と連携して行う活動が進んだ年でもありました。北区との政策提案協働事業の2年目、世田谷区の委託事業としての「ほっとスクール希望丘」の運営の1年目、そして、シューレグループとしては、江戸川区の協力で、不登校特例校としての葛飾中の弟妹校の「東京シューレ江戸川小学校」が、12月、都より認可を受け、開校できました。

それらの背景に、私達が力を入れてきた「普通教育機会確保法」の成立があり、とりわけ社会的に注目すべきは、要請し続けて、法の基本指針に基づいた10月25日の通知が、文科省よりやっと出された事でした。これは、確保法と矛盾がないよう、学校復帰のみをめざすのではなく社会的自立をめざすようになっており、この日「学校復帰を前提とする」という旧通知4本が廃止されました。東京シューレが先頭に立って、学校復帰前提の制度や政策を変えてこられたのは、大きな成果だったと思います。

ひきつづき、NPO法人東京シューレをよろしく願います。

2019 年度（第 20 期）事業報告及び決算について

■ 1 2019 年度の基本方針・重点目標を振り返る

下記の重点目標(テーマ)を設定して 1 年間取り組んでまいりました。

重点目標と成果

〔重点テーマ 1〕 新しい時代に、一人ひとりの多様な状況や個性、子どもの自由にそった、子ども中心、若者中心の学び・活動づくりを推進する

- サポートスタッフ・非常勤スタッフ・インターンスタッフ(スタッフ養成プログラム)によって年間、安定したスタッフ体制をとり、居場所と学びを充実させました。(計 21 名 王子 8、新宿 6、流山 1、大田 3、ホームシューレ 1、大学 2)
- デジタルスタジオの開設、インターネット・Wi-Fi 環境の充実によって、音楽、映像、プログラミングなどが充実しました。新宿・流山はインターネット・Wi-Fi 設備を充実させました。全スペースでのオンライン実行委員会等の ICT 活用が進みました。
- いろいろタイムなどの各スペースの独自性を活かした取り組みや、夏の全国大会子ども交流、フリースクール全国フェスティバルなど、子どもの実行委員会を通じた学びや取り組みなど、シューレの特長ある活動づくりを継続しました。
- 家庭も学校以外の学習の場として位置づいたことから、家庭での学びやホームエデュケーション家庭のつながりを広げる取り組みも進め、家庭単位のホームシューレ正会員が増えました。
- チュートリアルや日常の関わり合いのなかから、ゲーム、個別学習、プログラムづくり、進路づくり等、一人ひとりに寄り添い個々の活動をサポートしました。
- 東京シューレ公開企画「新しい時代にフリースクールの学びを」(5 月)、シューレ大学 20 周年記念イベント(6 月)、子どもの権利条約 30 周年、不登校の子どもの権利宣言 10 周年を活かした映像制作活動などに取り組みました。
- ブランディング委員会を中心に「子どもが創る・子どもと創る -多様な学びと社会を実現する-」を団体ビジョンとして確認しました。

〔重点テーマ 2〕 小学生のニーズが社会的に高まっている状況を踏まえて、初等部の受け入れ体制や活動の充実を図る

- 初等部の説明会・体験見学・入会が、今年度も大きく伸びました。
- 王子の初等部スペースの拡充、王子・大田を中心に初等部独自のプログラムに力を入れ、学びと活動が充実しました。
- 東京シューレ江戸川小学校開校準備にともなって、スタッフは NPO・学園合同の初等部研究会をつくり、成果を各スペースの初等部活動に反映し、東京シューレ学園と連携して、小学生年齢の受け入れ体制づくりを進めました。
- 世田谷区ほっとスクール「希望丘」でも小学生ニーズが高く、フリースクールと情報交換・相互連携しながら活動を充実させました。

〔重点テーマ3〕 普通教育機会確保法を活かした取組や公民連携の取組を推進する

- 担任説明会の開催、報告書の送付など、会員在籍校と継続的な情報提供や連携を行いました。
- 法の周知や施策を推進する働きかけを継続
- 奥地が委員である文科省の有識者会議に、フリネット、全国ネット、実現する会の意見を反映 6 月させ（6 月）、10.25 通知と法の周知や家庭への経済支援への事業予算につながりました。しかし、2019 年度の経済的支援は実現しませんでした。
- フリースクールスタッフ養成プログラム 2 期目に加え、フリースクール創業支援プログラム 1 期目を開始し、日本のフリースクールの発展を目指した取り組みを継続しました。
- 世田谷区ほっとスクール「希望丘」運営委託は、130 名もの小中学生を受け入れ世田谷区・地域の評価も高く、他自治体からも注目を得ました。北区政策提案協働事業も継続し成果を生み出しました。
- 東京都フリースクール等ネットワークを 11 月に結成し、都との連携や公的支援の足掛かりを作りました。
- 東京学芸大学と連携しフリースクール等の調査研究を進めました。

〔重点テーマ4〕 運営基盤の安定化、組織の基盤強化を推進する

- 2 年目を迎えた大田シューレ会員が 30 名に達し、運営が軌道に乗りました。
- 7 月からフリースクール会費、シューレ大学後期学費から改定にご協力いただき、運営基盤の安定化を支えました。
- 団体ビジョンを確認し、情報発信、支援者拡大、寄付募集等に連携させていく基盤としました。
- ホームページ発信、奥地著『明るい不登校』NHK 出版等を通して、東京シューレの発信力を強めました。
- ファンドレイジングチームを中心に、クレジット決済による寄付ページの導入、保護者によるバースデードネーション、東京シューレ江戸川小学校開校クラウドファンディングなど、東京シューレへの支援者の拡大を推進しました。
- 新宿若松スペースの再契約の方向が決まり、2023 年 7 月までの使用が内定しました。
- 公民連携による世田谷事業の本格受託により活動・財政規模が大きくなりました。
- 非常勤スタッフの時給改善、給与規定の改定、関連他団体活動の位置づけなど、スタッフの働き方や待遇の改善に取り組みました。
- 情報セキュリティ Office365 導入による業務効率化と情報セキュリティのしくみづくりを進めました。

〔重点テーマ5〕 子ども・若者の人権、安心・安全を守る取り組みの推進

- 東京シューレの活動における性加害・被害事件と裁判和解を契機に、第三者を含む「子ども等の人権に関する委員会」を設置し、スタッフ研修、相談窓口の開設、第三者調査委員会のしくみづくり、性・人権を学ぶ書籍・資料の設置や紹介、倫理綱領・行動規範の策定など、計画的・組織的な整備に取り組みました。
- 2 月から新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを進め、3 月 2 日よりスペース閉室し、オンラインによる活動やスタッフ体制を開始しました。

■ 2 事業の概要

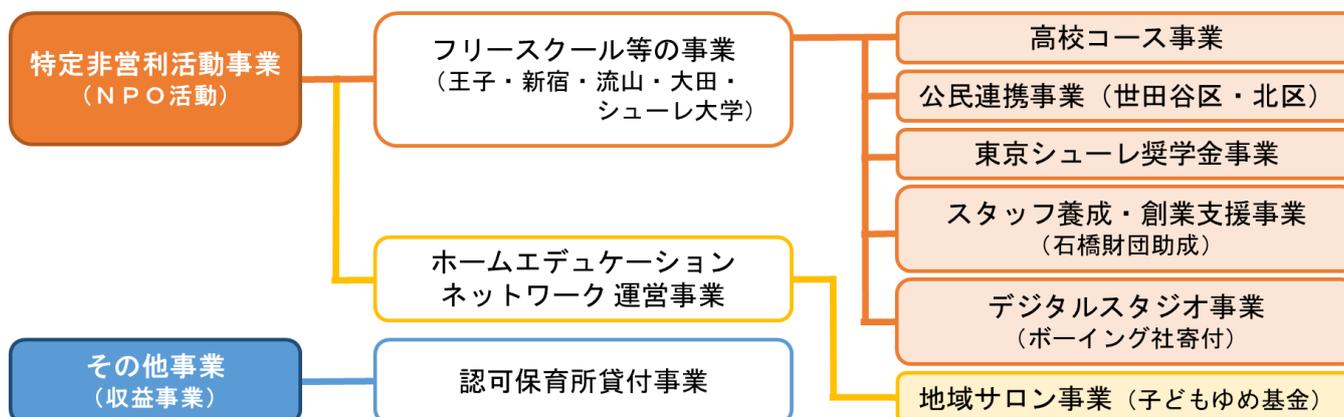
2019 年度（第 21 期）においても、「フリースクール事業」と「ホームエデュケーションネットワーク（在宅不登校支援）事業」を基幹事業として多様な活動に取り組んできました。

（1）会員数等の動向

2019年度在籍者数 ()は2018年度

	王子		新宿		流山		大田		ライフデザイン		シューレ大学		ホームシューレ		ほっとスクール「希望丘」			
	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	説明会参加者数	相談者数	通室者数	
説明会申込者数	371 (371)										22 (14)							
説明会参加者数	251 (251)										21 (12)					215 (-)		
入会者数	37 (33)		17 (13)		7 (6)		23 (20)		1 (0)		8 (9)		56 (51)		167 (-)			
在籍者数	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	年間	年度末	正会員	体験生	通室生	
初	29 (18)	28 (17)	16 (7)	10 (10)	7 (8)	7 (6)	29 (13)	28 (13)							155 (132)	36	26	
中	23 (27)	18 (22)	10 (14)	9 (11)	14 (10)	13 (11)	11 (6)	11 (6)	1 (1)	1 (1)	31 (28)	30 (25)	メッセージ	57 (98)	46 (46)	22	41	
高	67 (68)	63 (64)	27 (28)	26 (20)	8 (7)	8 (7)	4 (4)	4 (4)										
計	119 (113)	109 (103)	53 (49)	45 (41)	29 (25)	28 (24)	44 (23)	43 (23)	1 (1)	1 (1)	31 (28)	30 (25)		212 (230)	177 (163)	計	58	67
	年間				年度末										125			
	246 (211)				226 (192)													

（2）2019 年度の事業・活動全体の様子



■ 3 フリースクール等の事業について

4 スペースを週 5 日で開設し、6 歳（小 1）～23 歳（入会は 20 歳まで）を対象に受け入れ、初等部・中等部、高等部と高校コースを置き、子どもミーティングで活動や学習を決めていく子ども中心の学びを継続・発展させました。今期は、大田シューレ開設 2 年目となり会員が増え、スペース運営が軌道に乗りました。全体として初等部の人数が増え、年間在籍会員 246 名（昨年度 211 名）となり、過去最大の会員数となりました。

(1) 王子シューレ

事業費 4,396 (4,593) 万円 ※ () は 2018 年度

2018 年度に引き続き、フリースクールへのニーズの高まりにより、初等部の入会が多く予測に近い会員数となりました。一方で中等部は説明会への参加が少なく、体験見学はコンスタントにありましたが入会に至らないケースも目立ちました。デジタルスタジオは中高のスペース拡充と、プログラミング、海外交流、映像、音楽、実行委員会ミーティングなどの活動に寄与しました。

① 初等部の活動づくり

年度初めから 4 階を初等部スペースにし、初等部同士の関係づくりがしやすくなり、ミーティングをベースにいろいろなタイムが充実したり、フリースクールフェスティバルでも出店をしました。2 学期から誕生日会をはじめ、より子どもたちどうしの関係が深まりました。また、3 学期からは、世田谷の実践を活かし「帰りの会」をはじめ、一日の振り返りをおこなうことによって、その日の自分の行動に対するフィードバックや他者の動きについて共有するようになり、フリースクールや仲間とのつながり感を強めることにつながりました。学習は、実験・ものづくり、料理などが定着し、また一人ひとりのニーズに応じながら個別学習も進めました。

② 中等部の活動づくり

半数以上が中 3 年齢ということもあり、進路を考える「いちご (15 歳) ミーティング」や個別面談 (希望によって 3 者面談) を適宜行い、考えあう機会をもちました。進学は高校コースのほか、都立・私立、通信制など他校受験もあり、小論文や面接のサポートも行いました。初等部・高等部とつながっての人間関係や活動づくりが特徴となりましたが、フリースクールフェスティバルでは部として出店し盛り上がりしました。

③ 高等部の活動づくり

個別面談を適宜行い、その一人ひとりの時々のニーズに応じていくよう努めました。在籍数が 60 名以上いるため、高校に入ったばかりの高 1 から、フリースクール後の生き方を考える 23 歳まで幅広い年代の会員がそれぞれ抱えるニーズには、多様性・ばらつきがあるため、部としてまとまった活動よりも、それぞれの興味・関心に応じて、日常のプログラムやイベントに参加し、活動を盛り上げることが多い年になりました。

④ その他の活動づくり

- デジタルスタジオプロジェクト：「海外交流プログラム」では、7 月に開催された APDEC にて、王子シューレと開催地であるニュージーランドをつなげオンラインで現地の参加者と交流を図る企画を行い、大いに盛り上がりしました。
- 子どもの権利宣言 10 年プロジェクト「不登校の歴史と今」：シューレの OB/OG が中心となって作成した映像づくりに王子シューレで関心のあるメンバーも参加し、積極的にかかわりました。
- セールスフォース・ドットコム社の社会貢献事業の一環として、また北区内にある NPO 法人プログラミング教育研究所との連携によって、様々なレベルに応じたプログラミング教育を実践することができました。
- 夏の全国子ども交流大会：関心のあるメンバーが実行委員会から参加しました。
- 子どもの権利条約フォーラム：高等部会員が実行委員会から参加し、シンポジウムで登壇したり、自己肯定感をテーマに分科会を担当するなど積極的に参加しました。
- 北区子ども・若者応援ネットワーク結成に発起人として参画し、地域のこども食堂や子育て支援団体、社会福祉協議会と連携が深まりました。

① 課題と今後

今後も初等部の入会増や会員増が見込まれ、初等部活動と学びの充実は継続した課題です。また年齢構成として、中 3 年齢が多い中等部、最多の高等部は高 1 年齢から 23 歳と幅が広く、進路や関心にそった活動の工夫、フリースクール活動と高校コースの連携にも工夫が必要です。デジタルスタジオの活動展開、35 周年の取り組みの展開なども期待されます。

2019	こんなことがありました
4 月	各部での歓迎会
5 月	新プログラムスタート、スポーツ交流会
6 月	34 周年祭
7 月	ネットワークフォックスハンティング企画、APDEC
8 月	担任説明会、子ども交流全国大会、
9 月	お泊り会、スポーツ交流会、ようこそ先輩
10 月	仕事体験、ハロウィン企画
11 月	フリースクールフェスティバル、子どもの権利条約フォーラム
12 月	クリスマス会
1 月	新年会、スポーツ交流会
2 月	スキー合宿、活動発表会
3 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉室 (オンラインによる活動)

(2) 新宿シューレ

事業費 1,857 (1,614) 万円

2019 年度は、17 人の入会がありました。年度当初の予測より入会が増え、特に初・中等部の見学、入会が多い年でした。急に増えたことで、人間関係や部屋の人口密度が高くなって落ち着かないところもありましたが、常勤・非常勤・インターンスタッフの連携を図りながら居やすい居場所作りを心がけました。Twitter や Facebook を使って日常やイベントの様子を発信しました。

① 初、中等部の活動

- 入会が増え、毎日通ってくる人数も増えました。活動も拡がり、関わるサポートスタッフを増やして安心していただける居場所作りを心がけました。
- 中3年齢の人たちといちごミーティングや面談を行い、進路について不安や気になっている事など話しあいました。入会が増え活動も広がったため、安心できる居場所をつくるため個別での対応を増やしました。スタッフ・サポートスタッフミーティングを増やし、連携を密にしました。

② 高等部の活動

- 高等部ミーティングを月1～2回のペースで継続しました。話し合いたいことや普段気になっていること、個人的な話なども出しあいました。ミーティングや活動について、初等部との関わりなど全体的なことも話し合う機会がありました。
- 高3年齢が多く、「18ミーティング」を持ちました。進路や将来について、不安やどういふ風に考えていけばいいかなど話し合いました。

③ 学び・活動の充実

- 基礎講座では、初等部は個別を中心にし、中等部は基礎講座の時間と個人の時間を持ちました。高等部は高認講座、高校コースのレポート講座など行いました。
- 年度初めにチュートリアルでスタッフと話す時間をもちました。
- スポーツでは、フットサルは長い休みになると講座と同じ時間に自主的に集まるほどの人気です。卓球は毎日、バスケット、バドミントンは定期的に体育館で行っています。卓球大会、
- イベントは新宿シューレ24周年祭、穴八幡祭り、お泊り会、フリースクールフェスティバルやハロウィンパーティ、クリスマス会、節分などの季節の行事をミーティングや実行委員会で話し合いながら行いました。

④ 子どもの権利についての講座

- 子どもの権利について知る講座が始まりました。自分たちの身近なことや普段変だと思っていることを話し合っ、子どもの権利とは身近にあるんだということを知る機会になっています。夏休み明けに自殺に追い詰められる人が増えることやつらくなる人に向けて、メッセージ動画を作りたいとなり、全国子ども交流実行委員会とも一緒に映像を作りました。

⑤ 広報

- 新宿ホームページをリニューアルしました。
- Web (Facebook、Twitter、ホームページ) で定期的に発信しました。

⑥ 広報

- Web (Facebook、Twitter、ブログ、ホームページ) で定期的に発信しました。

⑦ 課題と今後

- オンラインフリースクールの充実、学びの支援、オンラインが苦手な人とどうつながっていくか。
- 会員増に向けての広報

2019	こんなことがありました
4月	高校コース入学式、お花見
5月	スポーツ交流会、通信作り
6月	お泊り会、東京シューレ 34 周年祭、スマブラ大会
7月	新宿シューレ 24 周年祭、しごと体験、夏合宿
8月	全国子ども交流合宿 in 東京、担任見学会、通信作り
9月	穴八幡祭り、スポーツ交流会、土橋さん送別会
10月	ハロウィンパーティ、通信作り、お泊り会
11月	フリースクールフェスティバル
12月	クリスマス会、通信作り
1月	北海道スクーリング、スポーツ交流会
2月	節分、スキー合宿、通信作り、卓球大会
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉室（オンラインシューレ）、高校コース卒業式

(3) 流山シューレ

事業費 1,452 (1,326) 万円

流山シューレとしては5年目となり、地元根差した活動になりつつあります。月1回の「親の会」も定着し、9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」には、17組の家族の参加がありました。高校コースは、2019年度入学の1名が加わり計5名に。千葉県フリースクール等ネットワーク関連では超党派フリースクール等千葉県議員連盟内にプロジェクトチームが成立し条例作りに向けて具体的に動き出し始めました。また千葉県教育委員会開催の「千葉県、千葉市不登校児童生徒情報交換会」に参加協力しました。

2019	こんなことがありました
4月	「清水公園」・お泊り会・高校入学式
5月	「清水公園」「壁の穴プロジェクト」15ミーティング
6月	「清水公園」「柏の葉公園」お泊り会 15ミーティング
7月	「清水公園プール」CFN ゲーム大会 15ミーティング
8月	「清水公園プール」
9月	「秋葉原ツアー」・「お泊り会」15ミーティング 「フリースクール無料開放キャンペーン」CFN ゲーム大会
10月	「お泊り会」外企画「柏の葉公園」保護者面談 15ミーティング
11月	フリースクールフェスティバル 外企画「東京ディズニーランド」いちご(15歳)ミーティング
12月	クリスマス会 CFN ゲーム大会 15ミーティングに
1月	「池袋ツアー」高校スクーリング 15ミーティング
2月	「秋葉原ツアー」高校定期試験 CFN ゲーム大会
3月	

① 広報活動

- HP・ブログ等の充実⇒アクセス増
- 9月の「フリースクール無料開放キャンペーン」は、17組の家族が参加。

② 何かやる日・サークル活動

お出かけ企画は、秋葉原や池袋,清水公園。年3回の「お泊り会」企画も盛り上がりました。
軽音サークルもメンバーが増え活動が定着した。新しくアニメサークルやダンスサークルが始まった。

③ 千葉県フリースクール等ネットワーク(CFN)

各月で企画した「ゲーム交流会」には、毎回60人近くの参加があり、交流が広がりました。
千葉県・千葉市不登校児童生徒情報交換会に参加しました。

④ 課題と今後

会員数や会員のエリアをもっと広げることができると考えられ、広報活動をつくばエクスプレス(茨城)方面にも広げようと思います。また、地域とのつながりや存在感が大きくなっているため、さらに「親の会」活動を地域に定着させることが重要です。

(4) 大田シューレ

事業費 1,652 (1,543) 万円

2019 年度の入会者数は 20 名を超え、40 人規模（準会員含む）の場となりました。特に初等部の入会が多く、会員の構成としては 4 分の 3 近くを小学生が占めています。会員数の増加と共に活動の幅も広がり、多様な講座の開設や、夏合宿なども行うことができました。また、スポーツ交流、フリースクールフェスティバルなどのシューレ全体で取り組むものへも積極的に参加しました。

① フリースクールでの学びの実践（1）多様なプログラム

- ロボットプログラミング講座：かねてより子どもたちの関心の高かった、ロボットプログラミング講座（10 回連続講座）を実施しました。次年度の発展コースへと継続を考えています。
- 月 1 講座：月に 1 回、子どもたちの関心が高い分野で外部の講師の方を招いて、講座を開きました（カラーコーディネート、スポーツチャンバラ、など）。
- 専門性を持った保護者の方々との連携：保護者の方々の専門分野や得意なことを生かしていただき、子どもたちの学びへとつなげていただきました（手芸講座、「アルコール」のはなし、「イラストレーターというしごと」のはなし、など）。

② フリースクールでの学びの実践（2）個別学習

- 個々の状況や関心や不安、スピードにあわせ、個別の学習支援を行いました。小学生の基礎学習、中学 3 年生の受験対策、高等部の高認対策なども行いました。

③ 部別（初等部、中・高等部）の活動づくり

- 月に 1 回、初等部と中・高等部で分かれたミーティングを行い、それぞれの意見を言い出しやすい雰囲気づくりに努めました。
- 月に 1 回、初等部タイムをつくり、初等部の子どもたちが、企画・運営をする時間を設けました。
- 閉室時間を初等部と中・高等部とで分けました。それにより初等部は安心な時間に帰宅でき、中等部以上だけの時間をゆっくりと使うことができました。

④ 振り返りタイムの実施

- フリースクールで過ごす日常を振り返ることで、自分自身でフリースクールで行ってきたことを意識してもらう時間を確保できました。

⑤ 地域との連携

- 教育センターへの訪問、大田区特別支援教育部の視察の受け入れ、大田区 NPO 交流会の参加、六郷プラットフォーム（大田区社会福祉協議会主催）への参加、大田区職員研修の受け入れ、町会への加入など、地域との連携、連絡を意識的に行いました。

⑥ 課題と今後

- フリースクールとして学びの構築：新しい学びの場としてフリースクールを選ぶ人たちも増えてきており、フリースクールとしての学び（子ども中心、多様な学びなど）をどのように構築し、実践していくかが大きな課題の一つです。
- 中・高等部の入会、プログラムの充実：初等部が 4 分の 3 近くを占めており、中学生以上の入会が少ない状況や入会後も初等部中心のプログラムが多くなり、中等部以上への対応が不十分なところがあります。今後、中学生以上の活動づくりも考えていく必要があります。

2019		こんな予定があります
4月	大田シューレ 1 周年祭、チュートリアル、小屋づくり開始、手芸講座開始	
5月	アスレチック、マジック講座開始	
6月	いちごミーティング、宇部フロンティア大学学生訪問	
7月	お化け屋敷、流しそうめん、大田区特別支援教育部会訪問、大田区議訪問	
8月	夏合宿（伊豆）、担任見学会	
9月	月 1 講座「カラーコーディネート講座」、スポーツ交流会参加、	
10月	月 1 講座「アルコールのはなし」、お泊り会、バーベキュー、鎌倉散策、ハロウィンパーティ、	
11月	月 1 講座「フラワーアレンジメント講座」、ボーイング STEM イベント、フリフェス、大田区職員研修受け入れ	
12月	ロボットプログラミング講座開始、リスーピア、クリスマス会、仕事体験	
1月	月 1 講座「イラストレーターのお仕事のお話」新年会、川崎大師、スポーツ交流会、	
2月	月 1 講座「スポーツチャンバラ」、スキー合宿、体力測定	
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉室、Zoom シューレ開始	

(5) シューレ大学

事業費 1,911 (1,857) 万円

2019 年度は 20 周年を迎え、「自分から始まる生き方を創る、自分から始まる学び」をするオルタナティブ大学という発信を 20 周年イベントを中心に行いました。20 周年を節目に広報委員会を中心に発信にも一層力を入れました。海外との交流も盛んで、韓国、台湾、フィンランドから短期留学やインターンを受け入れました。表現・研究も充実し、対外的な発信もできました。例年より公開したイベントの来場者が基本的に増えました。

① 20 周年記念イベント

小説家の平野啓一郎さんを基調講演者にお招きし、ワーカーズコープの全国本部のホールで開催しました。200 人を超える参加者は鹿児島、関西などからもありました。学生達も記念冊子を作ったり、広報をするためにもシューレ大学を改めて見つめる機会になりました。20 周年を機に行ったウェブ調査も注目され、ネットニュースで取り上げられました。

② 広報活動の充実

広報活動を分析し、アドバイスをしてくれる NPO に協力してもらうなど、広報委員会を中心に発信し力を入れました。後期からメディアに取り上げられることが増え、年末には Facebook が日本で初めてのサイバー上のドキュメンタリー短編をつくって発信してくれたり、年が明けてからは Jwave がオルタナティブ大学という点に着目して報道してくれました。

③ 当事者研究(自分研究)の充実

10 月に論文集「シューレ大学紀要」を発行し、10 本の研究を掲載しました。初執筆も多く、また内容も「当事者研究イベント」の一般参加者などから好評でした。一般の大学でも強く共感した学生と指導教官が来訪し、その大学でもシューレ大学の当事者研究のような研究活動を始めたいので協力して欲しいと要請がありました。また、海外からの注目もあり、中国から自分研究について詳しく知りたいということで事前の来訪と当事者研究のイベントへの参加がありました。

④ 就労に向けての学び

「無理にアルバイトをしてから働くことがトラウマになっている」「人の怖さとお金を得ることの責任の重さから働くことが恐ろしい」「ブラックな職場の経験から体が動かない」など様々な事情から働きづらさを感じている学生は少なくありません。シューレ大学では、単に働く経験を軽いものから経験させるということではなく、①まず自分が関心を持って働きたい分野を見つける、②関心のある分野でシューレ大学という安心できる場のサポートを得ながら金銭を外部から得るといったパイロットプロジェクトを実施しています。それ以外にも働くことそのものについての不安については①仕事を知るという講座で OBOG の体験を共有してもらったり、ワークショップをしてもらったりしています。また、自分を見失わずに働くありかたやオルタナティブな生き方について知ったり、議論したりするライフスタイル研究会という時間に、自分と他者を尊重し合いながら働く場を作っているワーカーズコープの人たちに 3 回にわたって経験を話しに来てもらいました。

⑤ 課題と今後

- 経済的に困難を持つ学生の増加：18、9 歳で入学する学生も、30 代で入学する学生もあり、親が年金生活の学生もいます。又、片親で収入が豊かでない学生もいます。学生自身も働く意思はありますが、働きがたさがあることが多いです。講座「仕事を知る」の次に進み、パイロットプロジェクトより経験しやすい企画を充実させる必要があります。
- 広報の充実：昨年度力を入れた広報活動は成果が出始めているものの、まだできることが多く、社会的に重みを増しているネット上の発信に限らず、親や祖父母などに求められるような紙媒体のものも含め拡充する必要を感じます。
- ネットを活用した学びの多様化：2019 年度の 3 月はコロナウイルスの影響で講座やプロジェクトの活動が基本的にはできませんでした。シューレ大学は従来から遠距離から参加している学生あるいは、自宅から出にくい学生もあり、コロナウイルスの感染がおさまった後もインターネットを活用した学びを実現していく必要があると考えています。

2019	こんなことがありました
4月	個々の学生の年間計画・テュートリアル
5月	ワンデーワークショップ(～6月)、韓国から短期留学生、不登校体験についてのネット調査実施
6月	台湾より短期留学生、フィンランドの大学院よりインターンの学生、20周年イベント開催
7月	紀要構想検討会、発表会、APDEC(シドニー)参加
8月	TURN フェス写真出展・トーク、東大田無キャンパスで半農半芸アート、映画祭開催
9月	夏合宿
10月	紀要発行、研究イベント開催、エデュコレ参加
11月	俳優・大久保美智子氏の演劇ワークショップ
12月	「三人姉妹」演劇公演
1月	映像作家松本力氏、キュレーター内海淳也氏来訪
2月	絵画展、ガラスの動物園演劇公演
3月	報告会・修了報告会

■ 4 ホームエデュケーションネットワーク運営事業

事業費 1,685 (1,893) 万円

家庭を中心に過ごす不登校の子どもや家族・ホームエデュケーション家庭のつながりとネットワーク活動として、月刊誌『ぼる〜ん』、『メッセージ』の発行、交流 WEB サイト・SNS の運営、学習サポートや講座、高校コース（ホームシューレコース）、全国合宿や地方でのサロン開催、日常の相談活動や進路支援など、多様な活動を継続してきました。

2019 年度は、正会員が 15 世帯増加し、会員増の傾向にありました。不登校数増加とともに在宅不登校等の数も増加しているものと考えられ、ホームエデュケーションの認知を一層広めていきたいと思ひます。また、大出力プリンターを導入し、会員誌を内製化し、外注していた印刷製本費を減らすことができました。

① 広報の充実

ホームページの更新頻度を高め、「未来の先生展」や「エデュコレ」等外部イベントに参加して広報を行いました。年度を通じて正会員数は上昇傾向で、1割以上正会員が増えました。

② 会員誌の内製化

大出力プリンターを HS 内にリース契約で設置して、印刷製本費を節約することに成功しました。リース料・インク代・紙代・印刷のためのアルバイト人件費・その他付属品類含めても、前年度の半分くらいになりました。他に『メッセージ』がカラー出力対応が可能になりました。



2019	こんなことがありました
4月	HS 高校コース入学式
5月	今治サロン、大型プリンター設置
6月	高校コース交流会 月末会員誌内製化開始
7月	高校コース北海道スクーリング
8月	4日新潟サロン 24日~25日夏の全国合宿
9月	未来の先生展、大津サロン
10月	エデュコレ HS 全国合宿（埼玉県熊谷）
	
11月	フリースクールフェスティバル出展
12月	高校コース・テスト、合同保護者会
1月	一日フリースクール（王子）
2月	単位認定会議
3月	新型コロナウイルス感染防止対策のため交流事業休止・業務縮小

③ 首都圏で新たな自主サロン

会員に呼びかけた結果、世田谷・江東・横須賀・横浜・で自主サロンが開催されました。

④ 課題と今後

● 新規入会会員の引きこもり傾向が一層強まっている

元々入会時における会員は、引きこもり傾向であることが多かったのですが、近年は特に多くなっており、子どもがなかなか自ら活動に参加しない現状があります。交流機会だけでなく、紹介型・訪問型の事業も始めたいと思ひます。

■ 5 高校コース事業

事業費 68 (670) 万円

2019 年度入学生は 21 名、在籍者数は 67 名。年度末に 24 名が卒業しました。

- 本校スクーリングは、フリースクールコース（冬）、ホームシューレコース（夏）共に北海道ならではの体験や講師の方々によるオリジナリティが高い教科スクーリングを実施しました。東京スクーリングが北海道スクーリングに統合されたため、両コースとも本校スクーリングが 4 泊 5 日となりました。
- 日常のレポートサポートについては、フリースクールコースでは講師や非常勤スタッフの体制を厚くし、個別対応も行いながら進めました。
- 進路は、高校コースによって、大学・専門学校進学、進学準備などしやすい状況ができてきています。
- フリースクールやホームシューレの活動をベースにした高校コースですが、単位取得に必要な活動のみ参加する会員もあり、個々に応じた関係づくりや学習サポートが重要になっています。
- 通信制高校の質の確保をめざした国の調査や方針に添って、本校や和寒町に協力し改善を図りました。

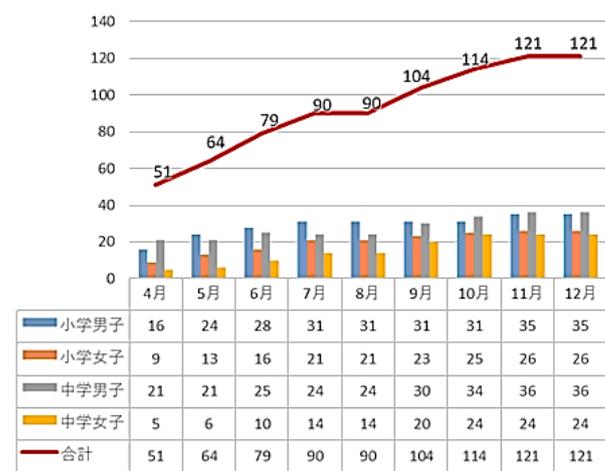
■ 6 公民連携事業

(1) 世田谷区教育支援センター ほっとスクール「希望丘」運営委託事業

事業費：2,156 (586) 万円

2 月のプレオープンを経て、常勤 5 名、非常勤 2 名（うち奥地がスーパーバイザーとして週 1 回程度）、ボランティアスタッフ 3 名のスタッフ体制で、4 月から正式にスタートしました。4 月は、学びたいことをミーティングで話し合い、プログラムを作ったり、いろんたデー（いろいろイベントデー）や講座、日々の活動を通して、子どもと一緒に学びや活動を創っていきました。4 月末には 51 名だった人数が、9 月末には 104 名、11 月末には 121 名と急激に増えたため、新規の受け入れを一旦ストップしました。（上記の人数は、1 回のみのお見学生も含まれています。）

ほっとスクール「希望丘」人数推移



① ミーティングの確立・活動の土台作り

ほっとスクールでも、ミーティングで話し合っ場を創っていくシューレのやり方を確立していきました。様々な活動やルー

ールをその都度、話し合いながら進めました。はじめは座って話すことやお互いの話を聞き合うことが難しい状況からのスタートでしたが、2 学期から、部別ミーティング（全体 1 回、それ以外は部別）と、部別の帰りの会を始め、ミーティングに慣れたり、意見を出しやすくなる雰囲気が醸成されました。また、部内での交流や活動の土台も作ることができました。

② 安心して過ごせる・違いを尊重しあう居場所づくりの醸成

落ち着いた気持ちや状況の子どももあり、子どもどうしのトラブルは絶えあり、スタッフが話を聞いたり、子どもと話したり、保護者と密に連携したりする中で、少しずつお互いを理解し、違いを尊重しあう雰囲気が出来ていきました。少ないスタッフ体制で、1 日平均 45 名前後子ども達への目配り・気配りは、なかなか難しかったですが、日々のふりかえりや、雑談の中からも、「ワンチーム」として、子どもに関する共通意識を持つことができ、なんとか無事乗りきれました。

③ 教育委員会・他のほっとスクールとの連携

教育委員会へは、毎月、スクールとしての「全体の利用状況統計報告書」・「相談受付状況等の統計報告書」・「各種プログラム・イベントの実施報告書」、各児童生徒の「個別学習計画書」・「個別学習報告書」・「通室情報報告書」などを提出し、正式に入室を希望する子どもについては、都度「児童・生徒理解のためのシート」・「相談状況票」の提出も行うという書類作成も大きな負担となる業務でしたが、子どもの状況の共有も丁寧に行いました。それ以外にも、43 件の視察

などで、教育委員会と一緒に、説明を行う中で、教育委員会の考え方やこれまでの取り組みについて理解を深めるとともに、

私たちの考え方への理解や共感をいただく場面も増えました。また、他のほっとスクール(「城山」「尾山台」)との合同会議(計 4 回)や「教育センター巡り」「合同進路説明会」「スポーツ交流会」などの合同企画を通して、それぞれのスタッフとの交流を深め、知り合うことができました。

④ 学校との連携

夏休みの間に、担任見学会や、学校訪問を行い、児童生徒の状況の報告を行い、理解を深めました。また、毎月「通室情報報告書」や「入室検討委員会」を通じて、通室状況や活動状況報告、支援の方向性を話し合うことができました。また、先生から、不登校の子どもへの支援の相談を受けたり、教員向けに研修等を通して、不登校の児童生徒への理解を深めてもらいました。(研修や相談は、教員だけでなく、区の SC や SSW 対象にも行いました。)

⑤ 課題と今後

- 個別対応が必要な子にスタッフの手と目がいき、ほかの子とじっくり話をしたり落ち着いて活動することができていない課題があるので、スタッフの人数適正化を区と調整し 2020 年度は改善されることになりました。(常勤スタッフは 5 名から 7 名に増員)
- 子ども達が、ほっとスクールで学んでいる自覚がないという課題があるので、「せまべん」でなく「ひろべん」という学びの捉え方を醸成します。そのためにチュートリアルの実践や、ポートフォリオを通してやったことを振り返る機会を増やすなど、学んでいることの実感を持ちやすくします。

2019	こんなことがありました
4月	はじまりのつどい・ファッションショー 親の会・保護者会・ほっとスクール合同会議
5月	食品サンプルづくり・清掃工場見学
6月	じゃがいも掘り・迷路お化け屋敷、 いちご(15歳)ミーティング① 親の会
7月	シリーズ人間(中村桂子さん)・おわりのつどい 保護者会・ほっとスクール合同会議・学校訪問
8月	お泊り会 担任見学会・学校訪問
9月	はじまりのつどい、プレーパーク、ほっとスクール合同企画(進路説明会・教育センター巡り) 保護者会
10月	さつまいもほり・ハロウィンパーティー 親の会
11月	大根抜き・ほっとスクール合同スポーツ交流、 いちご(15歳)ミーティング② 保護者会
12月	パン作り・クリスマス会・おわりのつどい 親の会・ほっとスクール合同会議
1月	はじまりのつどい・たこあげ 保護者懇親新年会
2月	1周年祭 親の会
3月	旅立ち祭・おわりのつどい ほっとスクール合同会議

(2) 北区政策提案協働事業

事業費 165 (258) 万円

「北区子どもの多様な育ちを支援する地域連携事業」として、3 年間のうちの 2 年目として、①公民連携・民間 NPO とうしの連携による学習会・情報交換会(2 回、のべ 160 名参加、北区立小中学校各校教員研修と位置づく)、②情報提供ホームページ作り、③不登校&進路相談会(北とぴあ: 86 名来場)、親の会とフリースペースの開催(年間 16 回)、適応指導教室へのプログラム提供(絵画講座とリズムワークショップを各 1 回)を実施しました。

■ 7 フリースクール スタッフ養成・創業支援プログラム (石橋財団助成)

事業費 419 (175) 万円

全国にフリースクールを増やしていく取り組みとして、石橋財団から助成を受け、5 年間で 10 名の日本各地で活躍するフリースクールスタッフを養成するプログラムの第 1 期奨学生 2 名(インターンスタッフ)が修了しました(8 月に報告会開催)。また第 2 期奨学生を公募し 2 名が 9 月からインターンを始めました。

同時に、フリースクール創業支援プログラム第 1 期を公募し、一般社団法人ミチシル(静岡県裾野市)のフリースクール事業の立ち上げ支援を 9 月より始めました。スタッフ 1 名のインターン受け入れ、2 月にはスタートアップ支援として奥地講演・東京シューレ OB・OG シンポを現地で行い、地域の不登校やミチシルへの関心強化を図りました。

その他、10 月から「東京シューレ公開研修プログラム」(全 30 回)をつくり講座と訪問による研修も開始し、インターンスタッフのほか一般も対象とするスタッフ養成に取り組みました。

■ 8 その他の活動について

本部事業・管理費 5,113 (2,733) 万円

(1) 保護者会/親の学び合い・相談/若者支援等の活動

- ① **フリースクール保護者会** …保護者会年 11 回開催、うち合同保護者会を 7 月(テーマ別分科会)、12 月(講師:喜多明人さん、不登校の子どもの権利宣言あれから 10 年上映)。
- ② **フリースクール説明見学会** …入会希望の保護者対象に王子シューレと大田シューレで計 13 回開催。
- ③ **相談電話・来訪相談** … 平日月~金 10:00~18:00 に相談電話を常設実施、来訪による相談も受付
- ④ **親ゼミ・親の会** …毎月第 2 木曜日に親ゼミを年間 10 回開講。「登校拒否を考える会」(王子)、流山親の会、大田親の会をつくり、葛飾親の会は連携して各会月 1 回開催、合同で通信を発刊。
- ⑤ **土曜サロン** …毎月第 1 土曜日 14:00~17:00 にひきこもり当事者の交流サロンを年 8 回実施

(2) 担任見学会、一般対象の研修・講習会、視察等

- ① **フリースクール担任見学会** … 全スペースで、フリースクール生の在籍校の担任や SC・SSW 等を対象に夏休みを利用して見学会を開催
- ② **一般見学会や視察の受け入れ** …説明見学会のほか、文部科学政務官視察、内閣府、経済産業省、地方行政・議員視察、NPO、大学・大学院のゼミ・インターン、大田区職員研修、東京しごとセンターインターン等の受け入れ
- ③ **出張実施・企画実施・派遣等** … 北区政策提案協働事業(別掲)、明治学院大学、フリースクール全国ネットワーク(総会学習会、スタッフ養成研修講座、JDEC 日本フリースクール大会)、登校拒否を考える夏の全国大会(早稲田)、ミチシルなど。

(3) 東京シューレ合同企画イベントの開催

「新しい時代に、フリースクールの学びを」を 5 月 25 日、東京シューレ葛飾中学校を会場に開催。奥地講演、フリースクール、葛飾中、ホームシューレ、シューレ大学の OBOG シンポと映像紹介、ブース相談会。約 200 名来場。

(4) 長期休み明け 子どもの“いのち”を守る取り組み

メッセージ動画「不登校だった私たちから不登校に悩むあなたへ」を新宿シューレメンバーが中心となって「全国子ども交流 2019」の子ども実行委員企画の一つとして制作・公開。また、フリースクール全国ネットワーク加盟団体と連携して「開放居場所」を各スペースで 9 月末まで実施。

(5) ファンドレイジング・ブランディングの取り組み

東京シューレ活動の社会発信と支援者(ファン)を増やし、寄付金などのファンドレイズにつなげる活動として、ファンドレイジングチームや保護者バースデッドネーションのチャレンジにより、マンスリーパートナーが増えました。また、ブランディング委員会を中心に、ビジョンとする言葉「子どもが創る・子どもと創るー多様な学びと多様な社会を実現する」を定め、NPO・学園双方の理念として整理しました。

(6) 会費等の減免・東京シューレ奨学基金による経済支援

- ① **入金会免除、会費・学費の減免制度** … 家庭からの申請による会費学費の減額をあわせて 20 家庭 452 万 2,840 円の減免支援を行いました。
- ② **東京シューレ奨学基金** … 上記の減免は基金により実施しました。奨学基金は寄付金によって成り立っており、期首残高 80 万 6,034 円、期中寄付受入れ 256 万 6,734 円(ハマダ基金、ファンドレイジングチーム寄付募集)、期末残高▲115 万 0,072 円でした。

(7) 学校法人東京シューレ学園との連携による活動

スタッフ連携会議の定期開催、子どもスポーツ交流・ママ食、行事・イベント、シューレ中での「ようこそ先輩」、合同保護者会、スタッフ合同研修、学校づくり委員会、初等部研究会、行事広報等を相互に連携協力しました。特に「東京シューレ江戸川小学校」開校準備では、ホームページ制作、クラウドファンディングに力を入れました。

(8) 過去の活動における性加害・被害と和解裁判、子ども等の人権、安心・安全を守るための取り組み

1998～2000 年度に主催していた宿泊型フリースクール活動において、関係したスタッフによる性加害があったことが 2016 年提起の訴訟により明らかになり、2019 年 7 月に和解に至りました。被害者の方には、謝罪・加害人と連帯による損害賠償を行い、心身ともに傷つけ、その後の人生に多大な負の影響を与え、今なお苦しんでおられることに責任を感じ深くお詫びするとともに、下記の再発防止の取組を進めました。2 月新聞報道後は、訴訟が和解によって終了したとの事実を除き守秘義務があることに留意しつつ、ホームページ上でも公表し、保護者会や会員 ML 等でも報告いたしました。二度とこのような人権侵害を起さぬよう、ひきつづき、事件の検証・共有と施策の取組を進めていきます。

- 第三者を含む子ども等の人権委員会（子ども等の人権の保護に関する委員会）の設置
- これまでの子どもの人権保護施策の実施状況の検証と課題のまとめ
- 相談窓口の開設（担当者 第三者人権委員・弁護士 1 名、スタッフ 1 名）
- スタッフ人権研修の実施（人権としての性的尊厳、性加害・被害、性暴力と救済活動、性の多様性についてなど）
- 倫理綱領・行動規範・行動ガイドラインの制定
- スタッフ採用ガイドラインの策定
- フリースクール等への書籍・資料の設置や紹介、情報提供リーフレットの作成準備
- フリースクール等での性に関する学習や予防教育のための研究と実施

ホームページでの掲載（2020 年 2 月 10 日）

東京シューレにおける性被害について、及び、子ども等の人権、安心・安全を守るための取り組み

子ども・若者 観 一般 メディア 2020年02月10日(月曜日)

東京シューレにおける性被害について

新聞等で報道されておりますように、東京シューレが1999～2000年度に主催していた宿泊型フリースクール活動において、関係したスタッフによる性加害があったことが2016年提起の訴訟により明らかになり、2019年7月に和解に至りました。被害者の方には、心身ともに傷つけ、その後の人生に多大な負の影響を与え、今なお苦しんでおられることに責任を感じ深くお詫び申し上げます。

また、私どもの活動に関わる子ども若者・保護者・協力者等の皆様をはじめ、各地の不登校・フリースクール等の活動の関係者や関心を寄せてくださっている多くの皆様に、不安とご心配をおかけしました。全国のフリースクール等は、性被害が頻発しているという事実はなく、子どもの人権と権利のために活動しておられます。

本件については、訴訟が和解によって終了したとの事実を除き守秘義務があることからご説明することができませんが、東京シューレの活動における性加害・被害、性暴力・虐待を含む人権侵害・ハラスメント（いじめを含む）等を防止するため、第三者を含む人権委員会の設置、相談窓口の開設、計画的・継続的な職員研修の実施、職員の倫理綱領と行動規範の策定などの再発防止策を講じました。さらに日常的な取組を強化し研鑽を重ね、子どもの安心・安全を守る体制を整え、信頼回復に努めてまいります。

(9) 子ども等の人権の保護に関する委員会の取り組み

国連子どもの権利条約採択 30 周年、日本批准 25 周年の節目と和解裁判の経緯から、理事会は第三者を含む人権委員会の設置を決め、大谷恭子弁護士を委員長として人権保護の施策の策定と推進、フリースクールやシューレ大学における具体的な事案対応を行いました。

シューレ大学にいて、学生による暴行および傷害、器物損壊等の事態が発生しましたが、学生・スタッフの安全、及び、誰もが安心して学びあえる場、他者と繋がりがいながら自分の生き方を創る場であるシューレ大学の安全が脅かされる事態と受け止め、第三者調査委員会を立ち上げ事実関係の調査を行いました。

(10) 学校づくり・フリースクール公教育化の活動（東京シューレ江戸川小学校開校準備）

江戸川区の廃校を借用して「東京シューレ江戸川小学校」の設置認可申請が具体的に進み、東京都から認可を得て今春開校できました（初年度4～6年 51名定員、28人で開校）。NPO・学園が合同の学校づくり委員会で検討を重ね、学校法人が認可申請に当たりました。また、学びの中身は「初等部研究会」を合同でつくり研究しました。

NPO 法人のファンドレイジングチームがクラウドファンディングの企画を担当し支援者 122 人、総額 2,376,500 円（目標 200 万円）を実現し、NPO 法人東京シューレとして 100 万円の寄付も理事会で決定し、グラウンド整備や設備・備品のための資金を支えました。これらの活動費は朝日ライフアセットマネジメント社からの寄付助成を活用させていただきました。

(11) 普通教育機会確保法、フリースクールの公的支援

① 「普通教育機会確保法」の理解促進・普及、文科省合同有識者会議による実施状況の検証

法について、保護者・スタッフ、説明会、親の会、フリースクール全国ネットワークや登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、東京学芸大学調査研究等と連携して、法の理解促進や研究に取り組みました。また、超党派フリースクール等議員連盟と夜間中等義務教育拡充議員連盟の合同議連に依りて文科省合同有識者会議が法の施行状況の検証を行い、委員である奥地を通した市民・フリースクールとしての提案が多く盛り込まれ、令和 2 年度予算に一定の反映が見られました。

② 東京都教育委員会、その他の教育委員会

6月に「教育委員会及び学校と民間施設・団体との連携検討委員会」が設置され奥地が委員として関わり、世田谷区のほっとスクール「希望丘」の公設民営事例の報告も行き、都としても積極的に公民連携を推進していく方針がまとまりました。また、さいたま市教育委員会、練馬区教育委員会のフリースクール等連携会議の構成員としても連携を取りました。

③ 東京都フリースクール等ネットワークの結成

11月、フリースクール等の市民側の窓口として、また多様な学びの普及を目指して、東京シューレと東京コミュニティスクール（中野区）が発起人となって結成し、シューレ保護者や関係者にも会員登録を呼びかけました。都への要望書の検討や活動資金のためのクラウドファンディングを実施しました。

(12) 他団体との連携・協働

- ① **関係団体とのネットワーク** … 登校拒否を考える会、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、フリースクール全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会、東京都フリースクール等ネットワーク、全国不登校新聞社など
- ② **APDEC オーストラリア大会・IDEC、国際交流** … オーストラリアで開催の APDEC（アジア太平洋フリースクール大会）にはフリースクール生やシューレ大学生が参加、スタッフ 3 名を派遣しました。また、ウクライナで開催の IDEC は紛争情勢からスタッフ 1 名のみでの派遣となりました。また、韓国との交流は、シューレ大学 20 周年、韓国代案教育関係者との行き来が継続しました。
- ③ **地域・NPO 団体・企業・財団等との連携** … 企業・財団による社会貢献や寄付助成プログラムと連携し、資金、人材、教育資材、学習体験機会などの提供をいただきました。また、活動を賛助会員として支えていただいたり、地域・企業・団体等との協働による持続可能な社会づくりとしての交流も進みました。

●ご協力いただいたり、協働した企業・財団等（敬称略・順不同）… 石橋財団、GAP Inc.、朝日ライフアセットマネジメント、セールスフォース・ドットコム、ボーイング、ナイキジャパン、アマゾンジャパン、幸栄不動産、J K、ほのぼの運動協議会・メディアサーカス、アレックス、東京シューレ出版、ツナガルラボ、創造集団 440Hz、ありん堂、労働者クラブ保育園、北区社会福祉協議会、日本 N P O センター・テックスープ、ハマダ基金・市民社会創造ファンド、パブリックリソース財団・GiveOne、北区市民活動推進機構、北区プログラミング教育協会、ワーカーズコープ、アーツカウンシル東京

●賛助会員として支援いただいた企業（敬称略）… 大多喜ガス、東鉄工業

■ 9 団体の運営に関する報告

(1) 組織

- ① **NPO 年間会員数** () は昨年度年間… 会員 379 (327) 名、支援会員 60 (63) 名、賛助会員 2 (3) 法人
- ② **総会運営**… 通常総会 2019 年 6 月 9 日 (土) 開催
- ③ **理事会運営**… 定例理事会 11 回
- ④ **委員会運営**… 財政委員会、学校づくり委員会、給与待遇改善委員会、ファンドレイジング・チーム、ブランディング委員会、PC ネットワーク・情報セキュリティ委員会、子ども等の人権の保護に関する委員会
- ⑤ **スタッフ体制**… 常勤スタッフに加え、年間を通じて週 3 日以上程度勤務するサポートスタッフ、非常勤スタッフ (週 1～2 日)、スタッフ養成プログラムの開始によるインターンスタッフ、ボランティアで体制をつくりました。
- ⑥ **定款変更**… 2018 年度総会で第 5 条事業の種類の変更を決議し、申請に添付する 2019 年度総会にて 2 年分の予算案を決議しました。認証申請には調整中の個所があり、2020 年度の再申請を予定することとなりました。

(2) 運営・経営

① 2019 年度決算の概要

(千円)

		収益	費用	損益
特定非営利活動に係る事業	NPO 会費、寄付助成、通常の事業管理費、法人の管理費など	3,264	16,663	▲ 13,399
	通常の事業(フリースクール、大学、ホームシューレ)	158,733	161,680	▲ 2,947
	特別の事業(高校コース、スタッフ養成、奨学基金、デジスタ、公民連携など)	50,570	36,249	14,321
その他事業	認可保育所貸付事業	21,203	8,928	12,275
事業外		7,886	4,512	3,374
法人全体合計		241,656	228,032	13,624
法人税等				70

会費・学費の値上げにご協力いただいたこと、会員数が伸びたことによって、通常の事業(フリースクール、シューレ大学、ホームシューレ)の収益が増え、損益が改善しました。また公民連携事業が大きくなり、通常外の事業(高校コース、スタッフ養成・創業支援、デジタルスタジオ、奨学基金、公民連携、地方サロン)規模が大きくなっています。認可保育所貸付事業は安定した収益で、通常の活動が通常外の活動と保育所貸付に支えられました。法人の管理費も多くなった年度でした。

- ② **基本金の組み入れ** … 定款および入会金・会費規程に基づき、使途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費 582 万円を基本金に組み入れました。
- ③ **会費改定** … 通常の事業での運営改善のため 28 年間据え置いてきた会費等改定し、フリースクール会費は 7 月から、シューレ大学学費は後期から改定しました。納付困難なシューレ大学の学生の一部には、額の据え置き措置を行いました。
- ④ **新宿若松スペースの再契約を確保** … 新宿区との契約が 2020 年 7 月末で終了することに対して、区と調整の結果、3 年間の再契約とすることができました。
- ⑤ **スタッフ等の待遇改善** … 2019 年度から中退共への加入、就業規則等の整備を進めました。賃金規定の改善案をまとめ 2020 年度より導入することを決めました(新型コロナの影響を配慮し、執行は 10 月から)。また労働時間や長時間活動など働き方の改革が課題ですが、2020 年度から、他団体として取り組む無報酬の不登校・フリースクール等の関連活動も手当の対象とするよう改善を決めました(執行開始は未定)。
- ⑥ **新型コロナウイルス感染拡大防止の対応**
3 月 2 日からスペースの閉室とオンラインでの活動を開始しました。スタッフの仕事も在宅勤務・テレワークに対応するよう整備しました。

⑦ 施設・設備・備品

- 本部・王子シューレ … パソコンの計画的な入替、玄関・階段照明工事、屋上フェンス整備
- 大田シューレ … ロボットプログラミング教材（デジタルスタジオ事業）
- 新宿シューレ・シューレ大学 … PCの計画的な入れ替え
- 流山シューレ … スペースの内装改装、Wi-Fi 環境の整備

■ 10 決算に関する報告

次ページをご覧ください。

(1) 2019 年度活動計算書 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業		その他 収益事業	合 計	
	フリースクール等 の事業	ホームエデュケーション ネットワーク運営事業	認可保育所 貸付事業		
I 経常収益					
1. 受取会費	NPO入会会費	5,265,000		5,265,000	
2. 寄付金	一般寄付金	630,423		630,423	
	特定寄付金	8,394,935	113,600	8,508,535	
3. 助成金	助成金	7,222,424	334,045	7,556,469	
4. 事業収益	入会金・会費等	123,233,818	15,172,990	138,406,808	
	施設整備費	7,333,000		7,333,000	
	講習会・補助活動事業等	5,208,756	3,367,180	8,575,936	
5. 提携事業収益		8,188,000		8,188,000	
6. 賃貸料収益			21,202,680	21,202,680	
7. 受託事業収益		31,289,856		31,289,856	
8. その他収益		2,620,292	8,345	2,628,637	
9. 基本金組入額		▲ 5,815,123		▲ 5,815,123	
経常収益計		193,571,381	18,996,160	21,202,680	233,770,221
II 経常費用					
1. 事業費					
(1) 人件費	給与手当(通勤手当含む)	91,996,191	9,739,675	1,270,845	103,006,711
	退職金及び掛金	2,817,000			2,817,000
	法定福利費	12,626,920	1,376,724	156,604	14,160,248
	福利厚生費	26,977			26,977
人件費計		107,467,088	11,116,399	1,427,449	120,010,936
(2) その他経費	講師料・支払報酬等	1,747,123	394,143		2,141,266
	印刷製本費	709,540	807,840		1,517,380
	荷造運賃発送費	779,866	273,233		1,053,099
	旅費交通費	4,928,478	467,047	10,977	5,406,502
	通信費	1,406,609	59,632		1,466,241
	消耗品費・事務用品費	5,661,324	888,600		6,549,924
	水道光熱費	3,197,028			3,197,028
	地代家賃	22,356,120	654,000		23,010,120
	賃借料	410,252	41,500		451,752
	奨学基金充当金	4,522,840			4,522,840
	租税公課	10,754,410		4,141,986	14,896,396
	支払手数料	455,334	21,056		476,390
	減価償却費・保証金償却費	7,667,504		3,347,944	11,015,448
	雑費	1,011,179	47,250		1,058,429
	その他活動費等	7,634,802	2,448,130		10,082,932
その他経費計		73,242,409	6,102,431	7,500,907	86,845,747
事業費計		180,709,497	17,218,830	8,928,356	206,856,683
2. 管理費					
(1) 人件費	役員報酬	4,000,000			4,000,000
	給与手当(通勤手当含む)	815,195			815,195
	退職金・中退金掛金	313,000			313,000
	法定福利費	209,612			209,612
	福利厚生費	730			730
人件費計		5,338,537	0	0	5,338,537
(2) その他経費	支払報酬	4,742,193			4,742,193
	印刷製本費	58,282			58,282
	荷造運賃発送費	32,042			32,042
	旅費交通費	39,792			39,792
	通信費	237,241			237,241
	消耗品費・事務用品費	748,781			748,781
	水道光熱費	66,407			66,407
	地代家賃	1,224,508			1,224,508
	租税公課	1,194,934			1,194,934
	減価償却費・保証金償却費	1,200,922			1,200,922
	支払手数料	236,314			236,314
	雑費	301,372			301,372
	その他経費等	1,241,879			1,241,879
その他経費計		11,324,667	0	0	11,324,667
管理費計		16,663,204	0	0	16,663,204
経常費用計		197,372,701	17,218,830	8,928,356	223,519,887
当期経常損益差額		▲ 3,801,320	1,777,330	12,274,324	10,250,334
III 経常外収益					
1. 奨学基金繰入収益		4,522,840			4,522,840
2. 退職金繰入金戻入		859,589			859,589
3. 通常会計繰入収益		2,474,298	29,279		2,503,577
経常外収益計		7,856,727	29,279	0	7,886,006
IV 経常外費用					
1. 寄附金		1,000,000			1,000,000
2. 支払利息		1,301,132		2,045,435	3,346,567
3. 雑損失(予備費)		99,024	36,900		135,924
4. 特別会計繰入金支出			29,279		29,279
経常外費用計		2,400,156	66,179	2,045,435	4,511,770
当期正味財産増減額		1,655,251	1,740,430	10,228,889	13,624,570
法人税等					70,000
前期繰越正味財産					▲ 123,169,279
次期繰越正味財産					▲ 109,614,709

(2) 貸借対照表 (2020 年 3 月 31 日現在)

科目	金額		(参考)
			前期末増減額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	98,924,361		
立替金			
未収入金	6,527,090		
貯蔵品	111,720		
前払費用	3,658,780		
仮払金	14,091		
預託金	966,410		
流動資産合計		110,202,452	11,732,517
2 固定資産			
土地	91,723,840		
建物	156,606,227		
建物附属設備	36,013,097		
構築物	5,031,523		
備品	3,205,056		
電話加入権	648,000		
ソフトウェア	262,715		
保証金	13,494,000		
出資金	50,000		
固定資産合計		307,034,458	△ 8,890,308
3 繰延資産			
長期前払費用	119,700		
繰延資産合計		119,700	
資産合計		417,356,610	2,766,609
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	12,814,321		
未払金	2,845,666		
賞与引当金	4,901,136		
預り金	1,380,683		
流動負債合計		21,941,806	△ 11,487,691
2 固定負債			
長期借入金	229,718,041		
預かり敷金	4,863,000		
退職給付引当金	20,057,895		
固定負債合計		254,638,936	△ 14,955,601
負債合計		276,580,742	△ 26,443,292
III 正味財産の部			
基本金		240,550,369	5,815,123
当期指定正味財産		9,840,208	9,840,208
当期一般正味財産		13,554,570	10,641,115
前期繰越正味財産		△ 123,169,279	2,913,455
次期繰越正味財産		△ 109,614,709	13,554,570
正味財産合計		140,775,868	29,209,901
負債及び正味財産合計		417,356,610	2,766,609

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法… 法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準… 退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。
- (3) 用途等に制約のある資金の提供を受けた場合の会計処理… 資金を使用した額を寄付金収入として活動計算書に計上し、期末に次期繰越資金が生じている場合は、当期指定正味財産として貸借対照表に表示しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービス及びボランティア等による役務の提供を受けた場合の会計処理… 役務提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、活動計算書に計上します。
- (5) 消費税等の会計処理… 消費税は税込経理によっています。
- (6) 基本金の組入… 当法人定款、入会金および会費等に関する規程、理事会決議に基づき、NPO入会金・会費、用途制約のない一般寄付金は基本金に組み入れ、収益から控除して計上しています。

2. 事業別損益の状況 事業別損益の状況は以下のとおりです。

科目	フリースクール等の事業											ホームエデュケーションネットワーク事業						
	本部事業	王子	新宿	流山	大田	大学	高校事業	デジタル推進・創造支援事業		東京シューレ奨学基金	公民連携事業		管理費	小計	ホームシューレ	地方フロン	小計	
								スタジオ	デジタル		北区事業	世田谷事業						
I 経常収益																		
1. 受取会費		192,000	5,000	50,000	21,579	2,175,935	200,000			2,566,734	1,650,000		5,265,000	5,265,000				
2. 寄付金													630,423	630,423				
特定寄付金													3,183,687	3,183,687				
3. 助成金															113,600	334,045	113,600	334,045
4. 事業収益		51,406,598	24,216,740	13,386,560	18,590,320	15,633,400	984,000						123,233,818	123,233,818	15,172,990	15,172,990	15,172,990	0
施設整備費		3,119,000	1,395,000	825,000	1,010,000	984,000							7,333,000	7,333,000				
講習会・補助活動事業等		1,683,290	889,410	117,750	675,300	1,040,526	330,000			3,300	59,000		5,208,756	5,208,756	3,367,180	3,367,180	3,367,180	0
5. 提携事業収益							8,188,000						8,188,000	8,188,000				
6. 受託事業収益		1,195,751			179,962	657,203							31,289,856	31,289,856				
7. その他収益												150,350	2,620,292	2,620,292	945	7,400	8,345	8,345
8. 基本金組入額													▲5,815,123	▲5,815,123				
経常収益計		1,386,531	56,520,975	26,569,595	14,632,804	20,477,361	8,718,000	3,277,189	2,566,734	1,650,000	31,499,206	3,263,987	193,571,381	193,571,381	18,654,715	341,445	18,996,160	
II 経常費用																		
(1) 人件費																		
役員報酬		7,681,500	11,942,740	9,516,630	8,726,223	9,662,790	10,000	3,160,000					4,000,000	4,000,000				
給料手当等		2,817,000											92,811,386	92,811,386	9,739,675		9,739,675	
退職金及び掛金		1,886,508	2,982,386	1,448,845	1,425,828	1,342,599							313,000	313,000				
法定福利費		6,577	12,400	8,000	0	0	0						209,612	209,612	1,376,724	1,376,724	1,376,724	0
福利厚生費													730	730				
人件費計		12,391,585	26,625,441	13,399,585	10,942,458	9,910,632	11,005,389	10,000	3,160,000	0	873,055	19,248,943	5,338,537	112,805,625	11,116,399	0	11,116,399	
(2) その他経費																		
講師料・支払報酬等		90,846	679,000	132,000	20,000	534,866	12,000	57,023					6,489,316	6,489,316	317,023	77,120	394,143	
印刷製本費		524,538				77,660	6,270						58,282	58,282	807,840		807,840	
荷造運賃発送費		288,387	149,630	111,562	8,432	29,998	34,767						32,042	32,042	263,165	10,068	273,233	
旅費交通費		1,598,388	601,534	344,698	549,022	354,863	275,721	140,342	727,740				39,792	4,968,270	247,156	219,891	467,047	
通信費		237,241	251,196	99,038	121,737	222,656	108,239	59,994	2,740	48,438	9,680	2,456,550	237,241	1,643,850	59,192	440	59,632	
消耗品費		748,782	751,783	642,736	371,405	810,911	269,170	165,106	23,018	478,803	1,189,751		748,781	6,410,105	871,929	16,671	888,600	
水道光熱費		66,408	1,328,929	214,669	383,629	559,386	644,007						66,407	3,263,435				
地代家賃		1,180,320	11,118,000	1,702,800	1,635,000	3,973,200	39,350						1,180,320	23,536,440	654,000	41,500	654,000	
賃借料		44,189	93,770	65,325									44,188	454,440				
奨学基金充当金										4,522,840			4,522,840	4,522,840				
租税公課		10,754,410											1,194,934	11,949,344				
支払手数料		236,314	45,838	37,928	41,214	18,720	22,870			3,148	20,300		236,314	691,648	19,432	1,624	21,056	
減価償却費		1,200,925	596,129	995,369	42,182	3,435,455	1,039,791						1,200,922	8,868,426				
雑費		301,372	313,554	70,228	127,280	69,985	86,666				396		301,372	1,312,551	47,250	47,250	47,250	
その他活動費等		2,491,340	1,402,317	757,262	280,421	1,185,508	112,298	200,000			146,613		1,241,879	8,876,681	2,444,720	3,410	2,448,130	
その他経費計		19,763,460	17,331,680	5,173,635	3,580,322	6,707,482	8,100,143	670,117	1,026,199	3,277,189	776,945	2,312,397	11,324,667	84,567,076	5,731,707	370,724	6,102,431	
経常経費計		32,155,045	43,957,121	18,573,220	14,822,780	16,519,114	19,105,532	680,117	4,156,199	3,277,189	1,650,000	21,861,340	16,863,204	197,372,701	16,846,106	370,724	17,218,890	
当期経常損益額		▲30,768,514	12,563,854	7,998,375	110,024	3,959,247	1,385,532	8,037,883	▲1,688,264	0	▲1,956,106	9,937,866	▲13,939,217	▲3,801,320	1,906,609	▲29,279	1,777,330	

3. 基本金計算書 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

単位：円

事 項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	297,966,761	234,735,246	63,231,515
II 当期組入額			
1.NPO入会金・会費収入高	5,184,700	5,184,700	
2.寄付金収入高	630,423	630,423	
計	5,815,123	5,815,123	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	303,781,884	240,550,369	63,231,515

【基本金に組み入れの対象】

1. 収益控除分（定款規定に基づくNPO入会金・会費、および用途指定のない一般寄付金）
2. 基本財産取得分（理事会決議により2016年度まで）
3. 基本財産を借入金にて取得した場合、当該借入金の返済額分（理事会決議により2016年度まで）
注）上記、2、3の組み入れについて、理事会決議により2017年度より組み入れを行わないと変更した。

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

計上している役務はありません。

5. 使途が制約された寄付等の内訳

(単位：円)

内容	前期末寄付預り金額	当期受入額	当期減少額	次年度繰越金
1. 特定寄付金				
① フリースクール事業全般		561,855	561,855	
② フリースクール（入会時寄付）		225,000	225,000	
③ ホームエデュケーションネットワーク事業全般		113,600	113,600	
④ キャリア教育・「食と職のプログラム」活動	3,854,550	0	3,854,550	
⑤ 学校づくりや教育多様化を目指す活動		559,548	559,548	
⑥ 自主制作映画普及活動		29,800	29,800	
⑦ 権利映像活動への寄付		197,448	197,448	
⑧ 高校コース（入学時寄付）		200,000	200,000	
⑨ 東京シュール奨学基金	806,034	2,566,734	3,372,768	0
特定寄付金計	4,660,584	4,453,985	9,114,569	0
2. 助成金				
⑩ フリースクールスタッフ養成・創業支援事業	1,668,264	6,070,000	3,966,799	※ 3,771,465
⑪ デジタルスタジオ事業	4,005,052	5,337,580	3,273,889	※ 6,068,743
⑫ 北区事業		1,650,000	1,650,000	
⑬ ホームシュール地方サロン活動		334,045	334,045	
助成金計	5,673,316	13,391,625	9,224,733	9,840,208

※⑩,⑪につきましては、特定正味財産として財産目録に表記しています

備考

- ①フリースクールの活動全般に対する、ほのぼの運動協議会からの寄付、個人等からの寄付（65件）です。
 - ②フリースクール入会時の寄付4名（5件）からの寄付です。50%を基金に繰り入れています。
 - ③ホームシュールの活動に対する個人等からの寄付です。
 - ④フリースクールとシュール大学の特定活動に対するGap.Incからの寄付活動です。
 - ⑤朝日ライフアセットマネジメント株式会社SRI社会貢献ファンド「あすのはね」による寄付活動です。
 - ⑦自主制作映画活動(25周年)への個人からの寄付です。
 - ⑧高校コース入学生保護者(2名)からの寄付です。内50%を基金への寄付に繰り入れています。
 - ⑨前期の基金繰越、入会入学時寄付の50%、寄付サイトによる寄附金を繰り入れています。
 - ⑩公益財団法人石橋財団による寄付助成事業です。
 - ⑪ポーイング社からの寄付助成事業です。
 - ⑫北区の政策提案協働事業です。
 - ⑬子どもゆめ基金助成事業です。
- 上記の特定寄付金のほか、使途特定のない一般寄付金として630,423円（個人20名、法人2社）からの寄付がありました。

6. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	取得価額	取得	減少	前期末帳簿価格	減価償却累計額	期末帳簿価額	
基本財産							
土地	大田区仲六郷2丁目13-13	28,572,060		28,572,060	0	28,572,060	
	大田区仲六郷2丁目13-16	63,151,780		63,151,780	0	63,151,780	
建物	東京シュレ大田ビル	161,846,562		156,919,623	8,487,562	153,359,000	
	ログハウス(長野 麻績村)	24,000,000		3,496,094	21,756,706	2,243,294	
建物付属設備	東京シュレ大田ビル	40,211,593		36,800,600	6,091,306	34,120,287	
構築物	〃 外構工事	5,847,770		5,423,322	816,247	5,031,523	
備品	〃 ネットワーク機器等	1,066,159		898,081	318,742	747,417	
その他の固定資産							
建物	新宿 旧若松出張所 建物改修工事	26,030,378		2,818,536	25,026,445	1,003,933	
建物付属設備	王子 コーエイビル 空調設備等	2,327,625		144,489	2,237,431	90,194	
	〃 玄関、ロッカー設置	1,954,800		1,227,150	923,130	1,031,670	
	新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	1,029,840		147,474	929,112	100,728	
	〃 空調設備	974,658		388,302	739,539	235,119	
	王子 ベルビックビル パーティション工事	681,793		662,817	246,694	435,099	
工具器具備品	王子 コーエイビル ネットワーク機器	642,500		530,063	176,687	465,813	
	〃 耐火金庫	181,749		137,829	53,007	128,742	
	〃 給湯器	189,972		55,141	166,556	23,416	
	〃 照明器具	239,500	169,262	227,466	34,695	374,067	
	〃 看板	496,800		476,100	70,380	426,420	
	新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	1,002,980		204,563	819,045	183,935	
	流山 グローリアビル パソコン、エアコン	160,000	156,800	146,667	55,515	261,285	
	世田谷 舞台	1,070,820		951,603	476,870	593,950	
	その他備品	4,033,330		11	4,033,319	11	
電話加入権		648,000		648,000		648,000	
ソフトウェア	東京シュレホームページ	451,400		352,995	188,685	262,715	
保証金	王子 コーエイビル	12,744,000	3,000,000	10,744,000	1,000,000	12,744,000	
	流山 グローリアビル	120,000		120,000		120,000	
	王子 ベルビック大岩	630,000		630,000		630,000	
出資金	瀧野川信用金庫 西ヶ原支店	50,000		50,000		50,000	
合計		380,356,069	3,326,062	0	315,924,766	74,647,673	307,034,458

7. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
瀧野川信用金庫 土地購入	29,110,000		3,960,000	25,150,000
〃 建築費用	214,704,053		10,136,012	204,568,041
合計	243,814,053	0	14,096,012	229,718,041

8. 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者(2親等者内の親族、支配する法人)との取引

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
I 経常収益			
寄付金	9,138,958	282,000	50,000
その他収益(雑収入)	2,623,701		897,098
収益計	11,762,659	282,000	947,098
II 経常費用			
1. 事業費			
地代家賃			480,000
修理・保守料			687,360
消耗品費・事務用品費			1,140,828
研修費			270,740
印刷製本費			385,700
広告宣伝費			384,000
諸会費			132,200
新聞図書費			9,840
2. 管理費			
支払報酬・講師料	378,000		378,000
3. 経常外支出			
寄附金	1,000,000		1,000,000
経費計	1,378,000		4,868,668

- 役員との取引には、役員本人、学校法人東京シュレ学園、NPO法人フリースクール全国ネットワーク、NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、NPO法人不登校新聞社、NPO法人日本子どもNPOセンター、多様な学び保障法を実現する会、株式会社創造集団440Hz、NPO法人ちばネモ不登校・ひきこもりネットワークとの取引があり、近親者との取引はありません。
- 経常収益における「その他収益(雑収入)」には、事務所賃料、コピー機カウンター料金等の負担分が含まれています。
- 経常外支出の寄附金は、学校法人東京シュレ学園への寄附金です。

(3) 財産目録 (2020 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科目		期末帳簿価額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金		200,993	
普通預金	三菱UFJ銀行王子支店	40,947,226	
	みずほ銀行王子支店	1,754,496	
	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	15,909,222	
ゆうちょ銀行	振替口座	5,672,336	
定期預金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	34,355,088	
定期積金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	85,000	98,924,361
未収入金	過年度分フリースクール事業会費	1,150,052	
	過年度分ホームエデュケーション事業会費	114,824	
	過年度分世田谷事業	5,262,214	6,527,090
貯蔵品 書籍		111,720	111,720
貯蔵品			
貯蔵品	ゆうメール発送代等	0	0
前払費用			
家賃	王子 コーエビル4月分家賃	1,100,000	
	新宿 旧若松出張所4月分家賃	473,000	
	流山 グローリアビル4月分家賃	137,500	
	王子 ベルビックビル4月分家賃	231,000	
	杉並 倉庫4月分賃料	41,800	
通勤手当	2020年4月～9月分スタッフ定期代	1,455,780	
その他	2020年度活動のための会場代等	219,700	
仮払金	人権委員会書籍代返品額	14,091	
預託金	Syncable取扱い寄附金等	966,410	4,639,281
流動資産合計			110,202,452
2 固定資産			
(1) 固定資産			
土地	大田 仲六郷2丁目13番13 (246.68㎡)	28,572,060	
	大田 仲六郷2丁目13番16 (120.01㎡)	63,151,780	
建物	大田 東京シューレ大田ビル	153,359,000	
	長野 ログハウス	2,243,294	
建物付属設備	大田 東京シューレ大田ビル 躯体部分設備	34,120,287	
構築物	大田 東京シューレ大田ビル 外構工事	5,031,523	
備品	大田 東京シューレ大田ビル ネットワーク機器等	747,417	
固定資産合計			287,225,361
(2) その他の固定資産			
建物	新宿 旧若松出張所 耐震、改修工事	1,003,933	
建物付属設備	王子 コーエビル 空調設備等	90,194	
	王子 コーエビル 玄関、ロッカー設置工事	1,031,670	
	新宿 旧若松出張所 玄関、自動ドア	100,728	
	新宿 旧若松出張所 空調設備	235,119	
	王子 ベルビックビル パーティション工事	435,099	
備品	王子 コーエビル ネットワーク機器	465,813	
	王子 コーエビル 耐火金庫その他備品	952,645	
	新宿 旧若松出張所 ネットワーク機器等	183,935	
	流山 パソコン、エアコン	261,285	
	世田谷 舞台	593,950	
	その他備品	11	
電話加入権		648,000	
ソフトウェア	東京シューレ代表ホームページ	262,715	
保証金	王子 コーエビル	12,744,000	
	流山 グローリアビル	120,000	
	王子 ベルビックビル パーティション工事	630,000	
出資金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	50,000	
長期前払費用	王子 ベルビックビル 礼金	119,700	
その他の固定資産合計			19,928,797
固定資産合計			307,154,158
資産合計			417,356,610
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	2020年度分フリースクール事業会費	4,609,040	
	2020年度分ホームエデュケーション事業会費	2,672,681	
	東京シューレ大田ビル 1階、2階家賃	1,783,100	
	高校事業入学金等	3,749,500	12,814,321
未払金	社会保険料事業所負担分	963,308	
	佛創造集団440Hz PC保守料等	179,300	
	退職金の支払い	1,200,000	
	その他	503,058	2,845,666
賞与引当金		4,901,136	4,901,136
預り金	社会保険料等	1,380,683	1,380,683
流動負債合計			21,941,806
2 固定負債			
長期借入金	大田仲六郷土地購入資金 瀧野川信用金庫	25,150,000	
	東京シューレ大田ビル建設資金 瀧野川信用金庫	204,568,041	
預かり敷金	東京シューレ大田ビル敷金 (株なないろ)	4,863,000	
退職給付引当金		20,057,895	
固定負債合計			254,638,936
負債合計			276,580,742
III 正味財産			
1 使途が制約された寄附等			
	石橋財団	3,771,465	
	ホーイング社	6,068,743	
2 一般の正味財産			
		130,935,660	140,775,868

監査報告書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥地圭子 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第22条に基づき、貴法人の第21期事業年度（自平成31年4月1日至令和2年3月31日）の決算に関し、提示された帳簿書類に基づき監査したところ、決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、正規の簿記の原則に従って貴法人の財政状態並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上の通り報告いたします。

令和2年 5 月 8 日

監事 磯野 愛建 

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ
理事長 奥地圭子 殿

私は特定非営利活動法人東京シューレ第21期事業年度（自2019年4月1日至2020年3月31日）の会務および事業・活動は、法人の目的にそって適正に行われたものと認めます。

以上の通り報告いたします。

2020年 4 月 20 日

監 事 牧野 恵 

2020 年度（第 21 期）事業計画および予算について

■ 1 重点目標と基本計画

重点目標

〔重点目標 1〕一人ひとりの多様な状況や個性、子どもの自由にそった、子ども中心、若者中心の学び・活動づくりを推進する

- 子どもの声をよく聞き、子ども個人のやりたいことが実現する取組（相談、チュートリアル、個別タイム、プログラム、進路）
- いろいろタイムや子どもの実行委員会を通じた学びや活動づくり
- デジタルスタジオ活動等（子ども中心の学びを ICT 活用、プログラミング、EdTech など）の推進
- スタッフ体制の充実
- 家庭（学校以外の学習の場）での学びやホームエデュケーション家庭のつながりを広げる取り組み
- 35周年記念イベントの取組とそれを活かしたつながりと学び、関係団体・企業の協力協働による実施

〔重点目標 2〕小学生のニーズが社会的に高まっている状況を踏まえて、初等部の受け入れ体制や活動の充実を図る

- 初等部独自の学びと活動づくりとその充実（スタッフ初等部研究会と実践）
- 東京シューレ江戸川小学校、ほっとスクール「希望丘」と連携した受け入れ体制づくりや取り組みの連携

〔重点目標 3〕普通教育機会確保法を活かした取組や公民連携の取組を推進する

- 法の周知や施策を推進する働きかけを継続（東京都フリースクール等ネットワーク、国会フリースクール等議員連盟などを通じた不登校・フリースクール支援、経済的支援の実現）
- 教育委員会・学校等との連携推進、協働事業や委託事業等の取組の継続（世田谷区ほっとスクール希望丘運営委託 2 年目、北区政策提案協働事業 3 年目、その他、学校・フリースクール等連携会議）
- 会員在籍校との連携強化（担任説明会開催、報告書等の体制）
- フリースクール、親の会の両ネットワーク、実現する会等と連携した公民連携、実践交流、実証事業の取組の推進

〔重点目標 4〕安心・安全の確保と向上、事業基盤安定化、組織の基盤強化を推進する

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとそれに対応した子どもの居場所と学びを守る取り組み（オンラインによる新たな活動・学びづくり、会費等の緊急減免支援、スタッフのテレワーク体制整備）
- 安心・安全の確保と向上を多角的に推進
- 子ども等の人権に関する委員会を中心とした子ども・若者を守る施策の推進
- 子ども・保護者・スタッフ・関係者等のコミュニケーション強化・向上
- 王子ビルの契約更新、シューレ大学移転の検討と新宿シューレ拡張の検討、若松スペースの 3 年後へ向けた準備など事業基盤安定化の検討
- 35 周年を機とし、発信力の強化・工夫、支援者の拡大、ファンドレイジング（寄付の拡大）、認定 N P O 法人化への準備等の推進
- 理事会運営の強化（ガバナンス、コンプライアンス、法人の諸規程等の整備等）、事務局強化
- スタッフ養成プログラムやボランティアを活用したフリースクール人材養成
- スタッフの働き方や待遇の改善（休暇や賃金等の待遇改善）

■ 2 役員の体制

役職	氏名	所属および関係団体
理事長	奥地圭子	学校法人東京シューレ学園理事長・学園長・東京シューレ江戸川小学校校長、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク代表理事、登校拒否を考える会代表、全国不登校新聞社代表理事、フリースクール全国ネットワーク代表理事、多様な学び保障法を実現する会共同代表
副理事長	牧野泰美	新宿シューレ会員（高等部）、王子OG保護者
理事・事務局長	中村国生	事務局・王子シューレスタッフ、東京シューレ学園理事
理事	大橋泰之	王子シューレ会員（高等部）保護者
理事	立山剛	王子シューレOB保護者
理事	京藤裕子	王子シューレOB保護者、ホームシューレ会員保護者
理事	佐藤信一	王子シューレスタッフ
理事	大豆生田千夏	新宿シューレOB保護者
理事	西明子	新宿シューレ会員（高等部）保護者
理事	鈴木（倉原）香苗	新宿シューレスタッフ、(株)創造集団 440Hz 監査役
理事	池田あつ子	流山シューレOG保護者、ホームシューレ保護者
理事	信組（帯津）葉子	流山シューレスタッフ
理事	野村芳美	大田シューレスタッフ・保護者
理事	中島泉	ホームシューレ会員保護者
理事	矢嶋康平	ホームシューレスタッフ
理事	山本さゆり	シューレ大学学生父母
理事	朝倉景樹	シューレ大学スタッフ、東京シューレ学園理事、(株)創造集団 440Hz 取締役、一般社団法人フリースペースつなぎ理事
理事	木村砂織	東京シューレ学園理事・東京シューレ葛飾中学校校長、スタッフ、日本子ども NPO センター理事、全国不登校新聞社理事
監事	牧野恵	ホームシューレ会員保護者
監事	紙野愛健	公認会計士・税理士、元東京シューレ学園監事

■ 3 委員会等の体制

設置委員会：NPO・学園連携会議、財政委員会、給与待遇改善委員会、ファンドレイジングチーム、ブランディング委員会、PC ネットワーク・情報セキュリティ対策委員会、子ども等の人権に関する委員会、35 周年実行委員会

■ 4 スタッフの体制

(サ)=サポートスタッフ：週 30 時間以上の契約スタッフ、(非)=非常勤スタッフ：週 30 時間未満のパート契約スタッフ

- ① 王子シューレ・・・ 佐藤信一、浅野意作、勝野有美、萩原美奈子、藤木弘人、中村国生
島夢美(サ)、ケリーブランドン(非)、福間悠理(非)、新貝勇一(非)、後藤史彦(非)
内藤好祐(イ)、リア・ミラー(イ)
- ② 新宿シューレ・・・ 倉原香苗、松尾和俊、石垣慧
福間悠理(非)、海老澤彩香(非)、小西菜月(非)、彦田来留未(非)、大塚航平(非)、内藤好祐(イ)
- ③ 大田シューレ・・・ 野村芳美、浅岡佑輔 福間悠理(非)、高田留美(非)、リア・ミラー(イ)
- ④ 流山シューレ・・・ 帯津葉子、原野有理 本田真陸(サ)
- ⑤ ホームシューレ・・・ 本間周子、矢嶋康平 海老澤彩香(非)
- ⑥ 高校コース(札幌自由が丘学園三和高等学校)・・・
フリースクールコース：(王子)浅野意作、(新宿)松尾和俊、(流山)帯津葉子
ホームシューレコース：矢嶋康平・本間周子
教務担当：松尾和俊、浅野意作、勝野有美、原野有理、本間周子
- ⑦ シューレ大学・・・ 朝倉景樹、今田万美子 瀬川嘉之(非)、津田園女(非)
- ⑧ 世田谷ほっとスクール「希望丘」・・・ 今井睦子、涌坂甚平、田澤穂、小泉亮、奥田利香、萱島麻衣子、柳葉咲希、綱島陽子(非)
奥地圭子(スーパーバイザー)
- ⑨ 全体・本部・事務局・・・奥地圭子、中村国生、森美智代、山口幸子(非)、甲賀真彦(非)